

学生がどんな場面でどのように eALPS を利用しているか、率直な意見を寄せてもらいました。また裏面では、学生の声に応える方法のご提案のほか、職員の皆さまを対象にした研修会の開催報告などを掲載しています。

## contents

e-Learning Newsletter No.42

- 学生の声 「eALPS を活用した学習について」
- ご提案 学生の声に応えるには・・・
- 『eALPS 研修会（職員編）2022』開催報告

## 学生の声 「eALPS を活用した学習について」

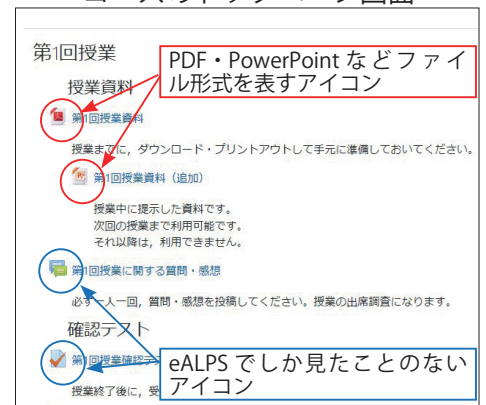
教育学部 2年 松本奈菜三さん

私はタブレット端末とスマートフォンの2つの端末を使って、eALPS を利用しています。「各コースの閲覧」「課題」「時間割の確認」は、特に利用頻度が高く便利に感じています。



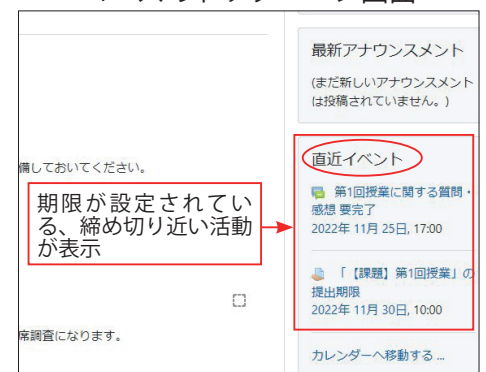
「各コースの閲覧」をして、授業で使う資料や先生からの指示を確認する時は、アイコンの表示が役立ちます。例えば、「Word や PDF などのファイル形式を示すアイコンは授業に関する資料」「それ以外の eALPS 上でしか見たことのないフィードバックや課題などのアイコンは自分にコメントなどアクションが求められている」(①)と予測をつけて、先生からの指示の詳細を確認します。見返しの時も目的のものが簡単に見つけられます。アイコンに加えて、説明が表示されていると「いつ必要で」「何をすればよいのか」判断を間違えることがなくなるので助かります。他には、授業で使われる資料や動画がアップロードされていると良いと思うことがあります。授業時スライドで示される資料は、書き写すことが難しく、資料や動画が掲載されていると口頭での説明を書き加え、復習にも活用できると感じています(②、③)。

### コースのトップページ画面



「課題の提出」を eALPS で求められる場合は、内容や期限の確認、提出を時間や場所を選ばずにでき、非常に便利です。課題をクリックすると、提出期限までの残り時間が表示されるので、締め切りを意識して早めに取り掛かることにつながります。タブレット端末でコースのトップページを見ている時に、【直近のイベント】の箇所に提出期限が近づいている課題が示されるため、コースにアクセスする度に「課題を提出しなければ…」と気づき、課題の提出忘れを防止することができています。まれに、「課題を eALPS で提出するように」と指示を受けても、私からは課題が見当たらずに心配になることがあります(④)。過去に、先生から指示を受けた時には見当たらず、週末にコースの確認をまとめてした時に課題に気づき、慌ててしまったことがあったので、今はコースのチェックを頻繁に行うようにしています。

### コースのトップページ画面



「時間割の確認」をする際に、シラバスへのリンクが示されていると使いやすくなると感じています。使用予定の教科書、講義室、授業の内容、期末テストの実施方法などを確認するために、かなり頻繁にシラバスを利用します。その度に、ACSU のトップページからシラバスの検索をしたり、eALPS でコースの検索をしてシラバスリンクを利用するのは、手順が多く大変です。もう少し簡単に eALPS とシラバスが相互に確認できれば、更に便利になると思います。また、過年度に表示を切り替えて、自分が履修した科目の確認や、後輩の履修に関する相談にのる時にも役立っています(⑤)。

### 学生が eALPS からシラバスにリンクする手順の一例



eALPS は個人の学びに合ったポータルサイトと感じています。そのため、学びの効率化につながり、学習活動に多くの時間を費やすことができるので、今後も有効に活用していきたいと思っています。

裏面に、下線の箇所についてのご提案を掲載しています。更に、eALPS ヘルプ & サポートサイトでは eALPS の機能を詳しく紹介しています。

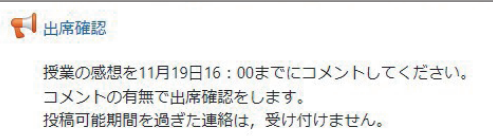
## ご提案 学生の声に応えるには・・・

### ①学生に何をしてほしいのか、明らかにする

教員が求めていることを明確に提示しておくことで学生の思い違いの防止になり、のちに教員が対応を求められることが減ります。

例えば…

eALPS のフィードバック機能を使って「出席確認」をする場合。学生に出席確認を求めていることを明記しておくことで「出席したはずなのに、欠席扱いになっている」などの申し出を減らすことができる。



### ②動画や音声ファイルは、短い時間の複数に分ける

視聴時間が60分を超えるようなものは、継続して視聴することが難しく、時には倍速再生をするようです。単元毎、前半後半などで区切ったファイルは、時間を確保がしやすくなります。また、動画を複数に分けると、「前半を視聴後に後半が視聴可能になる」などの設定が可能になり、学生の動画の視聴を促すことができます。

短い二つの動画に分割



「後半」が視聴可能になるための条件

利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません。活動「前半」が完了マークされた場合

eALPS のマニュアル・よくある質問はこちら  
[eALPS ヘルプ & サポートサイト](https://lms.ealps.shinshu-u.ac.jp/help/)  
<https://lms.ealps.shinshu-u.ac.jp/help/>



### ③掲載した資料に利用制限をする

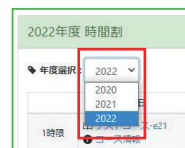
eALPS へアップロードした資料は、学生の利用を制限することができます。「授業内で提示した資料を、授業後に学生へ提示したい。」「欠席者のみ利用可能にしたい。」などの場合、利用制限や、アクセスの制限を設定することができます。

### ④【課題】の掲載時期を告知する

学生への告知前に【課題】を準備する場合は、利用可能になるタイミングをコースに表示します。授業などで学生に告知した後に【課題】を設定する場合は【アナウンスメント】や【クイックメール】で課題が掲載してあることを連絡すると、学生が課題を見落とすことが少なくなります。

### ⑤過年度を学生が利用しても良い状態にしておく

学生も教員と同様に、【年度選択】をして過去の2年間のコースを利用できます。コースにアップロードされた資料や、課題、小テストなどで、学生に利用してほしいものは【学生から秘匿】などの設定をする対応が必要です。



## 『eALPS 研修会（職員編）2022』開催報告

8月29日、職員の皆さまを対象とした『eALPS 研修会（職員編）2022』を松本キャンパスを主会場に Zoom にて配信し、同時収録したオンデマンド配信も行いました。およそ60名の皆さまにご参加いただきました。



松本キャンパスの様子



e-Learning センター 公式 Twitter <https://twitter.com/eALPS>

eALPS の障害・メンテナンス情報などを随時発信しています。みなさまのフォローをお待ちしています。

